



重要！！コーディングはリスクが伴う作業です。

ECU にエラーが記憶されたり、最悪の場合エンジン始動すらできなくなります。

そういった危険を十分に理解された上全て自己責任で行ってください。

コーディング失敗またはコーディング後に発生したいかなる故障にも保障は致しかねます。



注意

- ・ VIM with BLE はプロ用として販売しています。個人での作業は行わないでください。
- ・ コーディングが終了するまで絶対に車両から外さないでください。守らないと確実に車両にダメージを与えます。
- ・ 作業を連続で 10 分以上行う場合は、必ず外部充電器を使ってください。
- ・ VIM with BLE は、スマートフォン又はタブレット PC (端末) が必要です。

アップル iOS 9x まで、確認済み。

Android 4.3~6.0 確認済み。4.2. x 以前は対応しておりません。

Android についてはすべての端末で作動保証するものではありません。

前提条件

*作業中はバッテリー電圧が必ず 13.0V 以上 15.0V 以下、掛かっている状態にしてください。常時一定電圧供給が可能なバッファ機能付きのものが望ましいですが、13.0V 未満にならないければバッファ機能なしの充電器でも構いません。

エンジン始動状態でのコーディング作業は行わないで下さい。設定変更の際にエンジンが切れる車両があり、コーディングが完了せずに、失敗するだけでなく、該当 ECU やその他の部品を破損する可能性があります。

*必ず一定電圧供給及び、車両の電圧を維持出来る機能が付いた外部充電器を接続して下さい。

*診断テスター等で変更作業後のエラー消去が必要になる場合があります。

*ノーマル車両であることが前提です。社外部品 (TV キャンセルアダプタ、CAN アダプタ等) が、取り付けられている場合、必ず取り外すか、バイパスモードにセットして作業して下さい。アダプタが通信をブロックするため ECU の読み出し、書き込みでエラーが生じ、最悪コーディングデータが喪失します。

*スマートフォンをお使いの場合、着信がある場合エラーの原因になりますので、電話機能は OFF にして下さい。

頻繁にスマートフォンに着信がある場合、コーディング作業中に ECU 破損させてしまう可能性があるため、タブレット端末にて作業することを推奨します。

最初に車両と接続する場合、必ず端末 (携帯電話など) にインターネット接続がある状態で車両との接続を確立して下さい。

変更する項目を呼び出し、変更で同意するとその箇所 (ECU) の変更前の設定を内部メモリに保存します。

変更された内容をメニューの一番下の“初期化”で元の状態に戻す事が出来ます。

*コーディングを実施すると、関連する ECU にもディフェクトメモリが検知されます。VIM with BLE の一括消去機能にて消去は実行されますが、関連のないディフェクトメモリについては消去されません。

純正テスター等でディフェクトメモリを消去して下さい。

VIM with BLE 使用方法 <アプリケーションの準備>

アプリケーションのダウンロード

<iOS スマートフォン又はタブレット PC (端末) の場合>

App Store の検索欄に“ VIM ”と入力して検索します。

"VIM"アプリをインストールしてください。




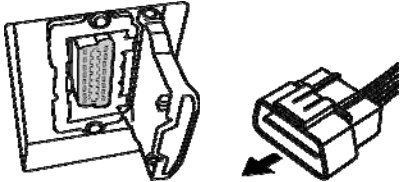






<Android OS スマートフォン又はタブレット PC (端末) の場合>

Play ストアの検索欄に“ VIM ”と入力してください。

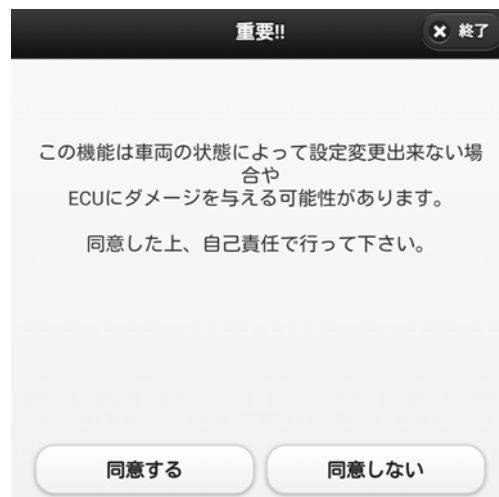
"VIM"アプリをインストールしてください。
同意するとアプリがインストールされます。




VIM with BLE 使用方法 <操作>

<p>1. イグニッション・スイッチを ON にします。</p>	
<p>2. VIM with BLE を OBD2 コネクタに挿します。 赤 LED・緑 LED が交互に点滅します。</p>	
<p>本製品は最初に接続した車両の情報を記憶してその車両専用となります。  他の車両に接続しても使用することはできません。 最初に接続した車両への設定変更は何度でも行えます。</p>	
<p>3. VIM アプリケーションを起動します。</p>	
<p>4. スキャンが開始され VIM 本体を検出します。 VIM 本体の S/N (例:nanoOne 41-000000) が表示されていることを確認してタップします。</p>	
<p>5. 設定変更が出来るメニューが表示されます。 希望のメニューから設定変更してください。</p>	
<p>5-1. 現在の設定が表示されます。</p>	
<p>5-2. 設定を変更して「決定」をタップします。</p>	

5-3. 重要事項を確認した上で「同意する」をタップします。



 他の車両で使用した VIM 本体に接続すると次のエラーが表示されます。



5-4. 設定が変更されました。
「ENTER」または「EXIT」をタップして設定項目メニューに戻ります。

※ 設定変更した項目を元に戻すこともできます。



6. イグニッション・スイッチを OFF にします。



7. VIM with BLE を抜取ります。

